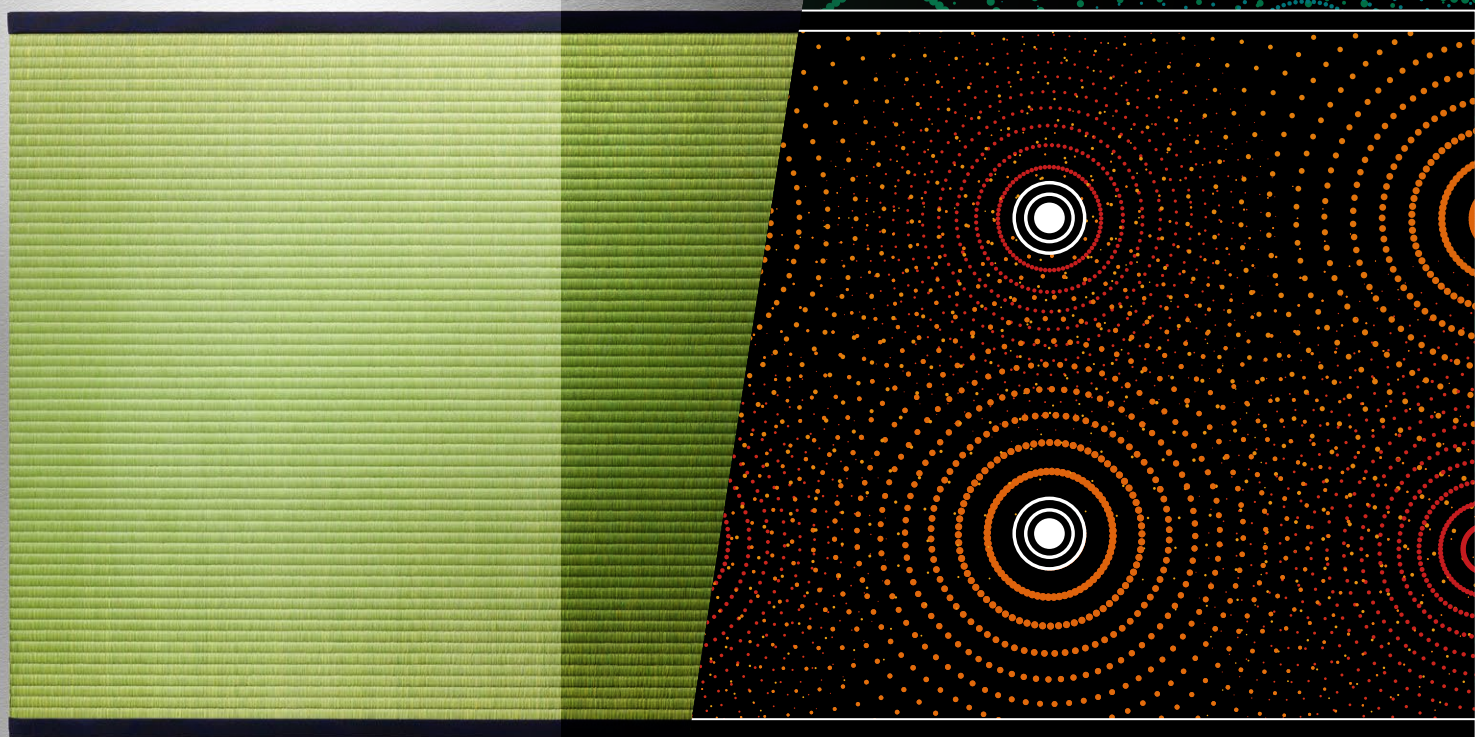


TATAMI SPEAKER



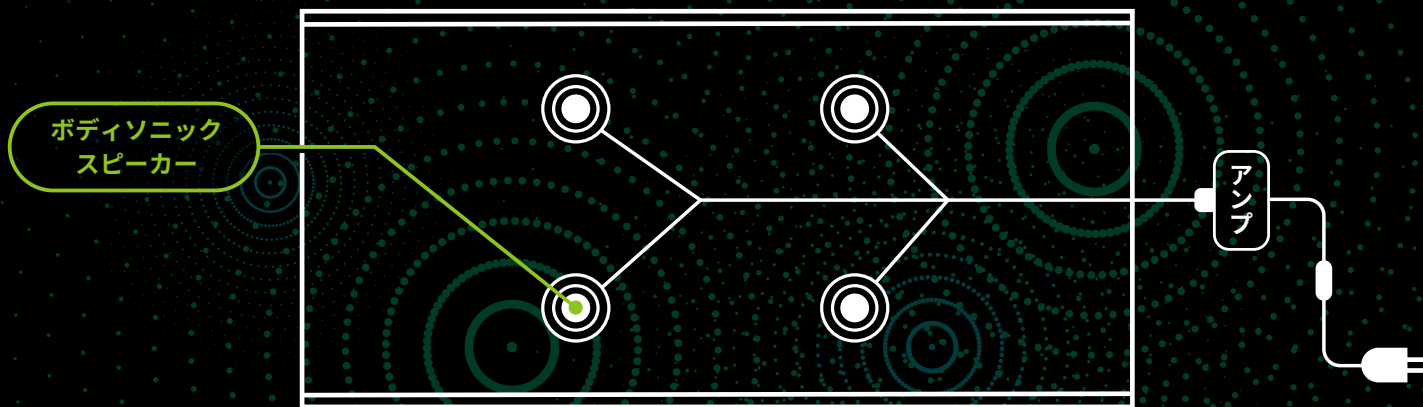
畳スピーカー TTM-V20

ごろ寝することで、
全身で音と振動に浸ることができる
「ボディソニック搭載畳」

Product Catalog

TATAMI SPEAKER

国産畳に、ボディソニック
スピーカーを4基内蔵。
“畳そのもの”から、
音と振動が発生されます。



Bluetooth 接続で、好きな音源を簡単に再生できます。

熊本県八代産畳表を使用



高いクッション性とリラックス効果のある香りが特徴の国産い草を使用。
音と振動へのより深い没入体験を実現。

選べる畳縁

6 種類からお選びいただけます。



製品仕様

- ・畳サイズ
w1760 × h880 × d55mm
- ・スピーカーサイズ
Φ90 × d25 mm
- ・Bluetooth アンプサイズ
w130 × h100 × d35mm
- ・Bluetooth アンプ出力
200W (ACアダプター 100V)

畳縁やサイズ、形状についても、オーダーメイド生産可能です。気軽にご相談ください。

シチュエーション

「畳の気持ちよさ」と「振動」を備えた TTM-V20 は、
音源との組み合わせによって、さまざまな効果が期待でき、
あらゆるシーンで活用が可能。

展示/イベント



イベント什器
休憩スペース
音響機材として

施設



映画館やスタジアムの
スペシャルシート
銭湯や浴室施設の
リラックススペース

オフィス



BGMが流れる
和室スペース

ご家庭



自宅の和室を
シアタールームに

用途によって、通常の畳と複数枚を組み合わせることも可能です。

導入実績



展示 / イベント

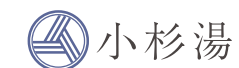


株式会社オーディオテクニカ様

「アナログ」を巡り、感性を刺激する
蚤の市『Analog Market』にて、和室
空間に TATAMI SPEAKER をご利用い
ただきました。



施設



小杉湯様

昭和8年創業の老舗銭湯「小杉湯」の
休憩所スペースに TATAMI SPEAKER
をご利用いただきました。



オフィス



株式会社博報堂ケトル様

オフィスの和室スペースに TATAMI
SPEAKER をご導入いただきました。

監修

日本音響研究所 所長

鈴木 創



警察や検察、裁判所等から依頼されて刑事・民事事件に関する音声・音響の科学捜査及び鑑定を多数担当。事件解決等で培った分析技術を応用して商品開発なども手がける。

代表作：「赤ちゃんけるっとスイッチ」「ふかふかかふかのうた」(カンヌライオン受賞)「パウリンガル」(イグ・ノーベル受賞)など。

畳を振動させるというアイデアに最初は驚きましたが、「日本の伝統的な畳は、音を伝えるデバイスとしてどんな可能性があるのだろうか」とワクワク感で一杯になりました。

TTM-V20 は、スピーカのように空気を振動させるのではなく、畳の振動を身体で感じる事が出来る点、しかも生活の中のいろいろな体勢やシーンが考えられるところに魅力があると思います。マットレスだと柔らかくて振動が伝わらず、床だと硬すぎてリラックスできません。畳ならではの「ごろ寝文化」や「床座文化」と、振動を伝える機能が思いがけずマッチしています。

開発にあたっては、畳とスピーカーの周波数特性などの相性や、その設置方法によって振動が上手く伝えられないこともあり、試行錯誤を繰り返しました。そしてその結果、特に「低周波による振動」を上手く伝えることができるデバイスが完成しました。小さいスピーカでは得られない迫力や、耳障りな高い周波数の音を気にせずにリラックスすることが期待できます。

通常、人間は空気の振動を鼓膜で捉えて音を感じていますが、TTM-V20 では畳と接触した身体の一部から音の振動を感じ取ることが出来ます。部位によって感じやすい周波数が異なることなどから、その目的に合った音源を作ることで様々な活用可能性を秘めています。休憩所などでのリラックスするシーンだけでなく、イヤホンと連動させることによって、迫力のある音楽や映像作品の鑑賞にも対応可能です。複数枚を敷き詰める、畳らしい使い方をすることで、音楽イベントも全身で体感できるものになります。

推薦

「振動スピーカー」とのコラボにより、畳の持つリラックス効果が、より五感にはたらきかける形で進化したように感じました。

五感(視覚・聴覚・嗅覚・触覚・味覚)は脳の働きと密接な関係にあります。「バニリン」をはじめとするい草^{*}の香り成分(嗅覚)やい草の色(視覚)はリラックス効果をもたらすことが知られており、また畳表^{*}はい草を1本1本編んで作られていることから、畳目の触り心地やクッション性(触覚)も特徴です。この畳本来の良さに、今回、振動スピーカー(聴覚と振動覚)が加わったことで、畳のリラックス効果をより増幅して実感できるのではないのでしょうか。

さらに、い草には吸音性があります。一般的に、和室とフローリングの部屋とで大きな声を出した場合、フローリングの部屋の音の方が大きく響きます。振動スピーカーを畳に仕込むことは、周囲の人にとっても心地よい音響空間の創出にも繋がるのではと考えます。

昔は、家の多くの部屋で畳が敷かれていましたが、近年の建物の洋風化で和室が減り、畳が全くないという家も珍しくありません。本プロダクトでは、床材としての役割を超えて、現代のライフスタイルやトレンドにフィットした形で、畳が応用されることが期待できます。是非この新しい畳プロダクトで、い草のすばらしさを実感してほしいと思います。

^{*} 畳の表面部分(ござ)を「畳表」といい、畳表は「い草」から作られる。

北九州市立大学 教授

森田 洋



1970年名古屋市生まれ。1999年九州大学大学院博士課程修了、博士(農学)。教員として初めて赴任した八代高専(現 熊本高専)でい草の研究を始め、い草研究の第一人者。数物新聞社特別功労賞、全国畳産業振興会特別功労賞等を受賞

メーカー、研究所など
お問い合わせください。

